

令和4年度 第1回 城北小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年 4月28日（木） 14時30分から16時15分まで
- 2 開催場所 城北小学校 会議室
- 3 出席委員 岩井弘美子、川嶋 正幸、中川 勝夫、高柳 理子、山岸 絵里
深谷 真光、中川 智博、鈴木 千栄、清水 裕人
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 河西 博昭（高台協働センター）
井下 俊輔（はままつ青少年の家）
- 6 学校支援コーディネーター 紙上 理恵
- 7 学 校 山内登志弘（校長）、坂本 友彦（教頭）、小谷 留美（CSディレクター）
- 8 傍聴者 なし
- 9 協議事項

- (1) 議長の選出について
- (2) 学校運営の基本方針について
- (3) 本校コミュニティ・スクールの考え方
 - ①城北小サポーター活動計画
 - ②城北小CS「やらまい會」情報発信
 - ③子供の居場所づくりについて

- (4) 夢育やらまいか事業に対する意見書について
- (5) 学校運営協議会の自己評価

- 7 会議録作成者 CSディレクター 小谷 留美
- 8 会議記録

司会の坂本教頭から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

- (1) 議長の選出について

司会から、議長の選出について意見をもとめたところ、清水委員から会長を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

- (2) 来年度の学校経営の基本方針説明について

議長の指示により、山内校長から、学校運営方針（グランドデザイン参照）について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・不登校が増えている。（高柳委員）
- ・価値観が違い、子供や親のSOSがなかなかキャッチできない。需要する扉を開き、寄り添うことが大事（中川智博委員）
- ・特効薬がないから、皆で支えていく意識をもち、認める。生活習慣が多様になってきているため、様々な経験をすることが大事。（岩井委員）
- ・学校での生活を続けていく。そのうち、勉強したくなったら、自分からするようになる。（川嶋委員）
- ・以前よりもキャリア教育は手厚くなってきている。さまざまな問題が起きるのは、学校ではなく、世の中の親の問題。（高柳委員）

- ・過去は教科書をツールに勉強していた。デジタルだけでなく、山といった自然の中で体験した方が楽しいかもしれないが、なかなかできなのが現状。本校はいろいろな体験ができていく方だと思う。(中川勝夫委員)

(3) 本校コミュニティ・スクールの考え方

①城北小サポーター活動計画

②城北小CS「やらまい會」情報発信

- ・学習支援のサポーターを増やしていく。(岩井委員)
- ・先生たちのお手伝いができる(高柳委員)
- ・城北小のまわりの環境が整っているので、さまざまな案を提案していく。(清水委員)

③子供の居場所づくりについて

- ・城北小学校校区体育振興会が中心となって、夏休みに城北小の体育館を利用して、体を動かす機会を提供する。(川嶋委員)
- ・城北小の1年生から6年生までを対象とする。(岩井委員)
- ・共稼ぎの家庭もあり、昼食もほしいところだが、まず対応できるところから始める。(深谷委員)
- ・予算は体育振興会から出す。(中川智博委員)
- ・細かいところはこれから詰めていく。子供たちと地域の人と触れ合う機会をつくるために、まずは立ち上げることを第一に考える。(川嶋委員)

(4) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、坂本教頭から説明があり、承認された。

その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和4年6月10日(金)14時30分から城北小会議室で開催する旨の報告があった。